



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 パルステック工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6894 URL http://www.pulstec.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 幸博
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)坂倉 茂 (TEL)053-522-5176
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	939	△2.2	164	45.0	164	41.9	140	38.4
28年3月期第2四半期	960	△34.7	113	△69.2	116	△70.1	101	△70.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 133百万円(32.6%) 28年3月期第2四半期 100百万円(△71.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	10.23	—
28年3月期第2四半期	7.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,117	2,053	65.9
28年3月期	2,891	1,920	66.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,053百万円 28年3月期 1,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	3.3	250	2.1	250	△1.6	216	△37.6	15.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 除外 — 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期2Q	13,934,592株	28年3月期	13,934,592株
29年3月期2Q	241,766株	28年3月期	241,526株
29年3月期2Q	13,693,032株	28年3月期2Q	13,694,824株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や企業業績は緩やかな回復基調で推移いたしました。海外におきましては、米国経済は堅調に推移しているものの、英国のEU離脱や新興国の景気減速などの懸念材料も多く、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、光ディスク関連の設備投資は、評価装置関連、製造装置関連を中心に堅調に推移し、ヘルスケア関連につきましても引合いが増加しており、良好な受注環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、新製品の市場投入、販売力の強化、さらなる原価低減などに注力いたしました。

ポータブル型X線線留応力測定装置につきましては、世界最小・最軽量を実現した新製品(μ-X360s)を完成させるとともに、国内外の展示会への出展、実機によるデモンストレーションの実施、大学や研究機関への装置貸出し、学会での講演、計測サービスの積極受注、海外代理店の設置など、受注獲得に向けた積極的な販促活動を展開いたしました。

光ディスク関連機器・装置につきましては、4Kテレビやアーカイブ用途のBD用製造装置や評価装置等の設備需要が増加し、好調な受注環境で推移いたしました。

ヘルスケア関連につきましては、当社の光センシング技術に注目が集まり、医療機器メーカーからの受託開発や製造に関する引合いが急増し、前年同期間を大幅に上回る受注高となりました。

3Dスキャナ関連につきましては、自動車関連向けが伸び悩み、低調な推移となりました。

以上の結果、受注高は9億31百万円(前年同期比0.3%減)、売上高は9億39百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

損益面につきましては、固定費の削減や原価低減効果に加え、収益性の高い製品が寄与したことなどにより営業利益は1億64百万円(前年同期比45.0%増)、経常利益は1億64百万円(前年同期比41.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億40百万円(前年同期比38.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて2億26百万円増加し、31億17百万円となりました。これは主に、仕掛品が1億63百万円、原材料及び貯蔵品が39百万円、受取手形及び売掛金が38百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて92百万円増加し、10億64百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億52百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が38百万円、長期借入金が22百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1億33百万円増加し、20億53百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて1百万円減少し、9億31百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、94百万円(前年同期は83百万円の使用)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上1億64百万円、仕入債務の増加1億52百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加2億3百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、24百万円(前年同期は71百万円の使用)となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出24百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、60百万円(前年同期は71百万円の使用)となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による支出60百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告 第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	933,392	931,832
受取手形及び売掛金	644,471	682,510
仕掛品	180,810	344,694
原材料及び貯蔵品	66,351	106,212
その他	145,996	137,197
流動資産合計	1,971,022	2,202,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	293,205	283,036
その他(純額)	345,413	349,916
有形固定資産合計	638,618	632,952
無形固定資産	346	254
投資その他の資産		
投資その他の資産	321,648	316,848
貸倒引当金	△40,200	△35,000
投資その他の資産合計	281,448	281,848
固定資産合計	920,414	915,055
資産合計	2,891,436	3,117,502
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	114,025	266,432
1年内返済予定の長期借入金	83,176	44,520
未払法人税等	8,437	29,686
賞与引当金	61,253	60,880
その他	164,448	134,376
流動負債合計	431,341	535,896
固定負債		
長期借入金	118,000	95,740
退職給付に係る負債	417,567	432,036
その他	4,403	399
固定負債合計	539,971	528,176
負債合計	971,313	1,064,072

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	1,099,653	1,099,653
利益剰余金	△515,143	△375,047
自己株式	△164,534	△164,565
株主資本合計	1,911,350	2,051,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,092	7,417
為替換算調整勘定	680	△5,402
その他の包括利益累計額合計	8,772	2,014
純資産合計	1,920,123	2,053,430
負債純資産合計	2,891,436	3,117,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	960,648	939,411
売上原価	459,567	404,897
売上総利益	501,080	534,513
販売費及び一般管理費	387,578	369,991
営業利益	113,501	164,521
営業外収益		
受取利息及び配当金	465	463
売電収入	2,228	7,016
貸倒引当金戻入額	5,200	5,200
その他	755	825
営業外収益合計	8,650	13,504
営業外費用		
支払利息	2,029	1,086
為替差損	918	6,140
売電費用	3,095	6,036
営業外費用合計	6,043	13,263
経常利益	116,107	164,762
特別損失		
固定資産除却損	12	0
投資有価証券評価損	-	752
特別損失合計	12	752
税金等調整前四半期純利益	116,094	164,010
法人税等	14,834	23,913
四半期純利益	101,260	140,096
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	101,260	140,096

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	101,260	140,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△556	△675
為替換算調整勘定	△150	△6,083
その他の包括利益合計	△706	△6,758
四半期包括利益	100,553	133,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,553	133,337
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	116,094	164,010
減価償却費	33,535	30,215
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,200	△5,200
受取利息及び受取配当金	△465	△463
支払利息	2,029	1,086
為替差損益(△は益)	1,082	6,210
売上債権の増減額(△は増加)	△225,745	△33,172
たな卸資産の増減額(△は増加)	37,628	△203,962
仕入債務の増減額(△は減少)	22,405	152,906
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,925	△289
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,333	14,468
投資有価証券評価損益(△は益)	-	752
その他	△24,572	△29,491
小計	△43,798	97,072
利息及び配当金の受取額	465	464
利息の支払額	△1,918	△1,003
法人税等の支払額	△37,866	△3,806
法人税等の還付額	-	1,550
営業活動によるキャッシュ・フロー	△83,117	94,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△71,366	△24,270
貸付金の回収による収入	99	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,267	△24,169
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	-
長期借入れによる収入	60,000	-
長期借入金の返済による支出	△81,406	△60,916
自己株式の取得による支出	△36	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,442	△60,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,085	△10,721
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△226,912	△1,559
現金及び現金同等物の期首残高	906,349	933,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	679,437	931,832

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
1,321,346	132.0

(注) 生産高は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
931,591	99.7	545,278	109.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
939,411	97.8

(注) 1. 主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
	販売高 (千円)	割合 (%)	販売高 (千円)	割合 (%)
Sony DADC US Inc.	—	—	117,720	12.5
株式会社小坂研究所	155,157	16.2	114,601	12.2

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。